



遠隔授業対応のため年度初めの開講時期がずれ、その後も遠隔授業が続いてあまり進行に実感を持ってませんがふと気がつけば5月も下旬です。今号は4月に着任された石尾智久先生のエッセイ、同じく4月から新組織となった大学院法学研究科法学・政治学専攻のお知らせです。

◆◆教員エッセイ◆◆

第 40 回 石尾智久先生（民法）

2020 年度に着任した石尾智久です。3 月までは学生だったので、この春、研究者として新たなスタートを切ることになりました。「ニューシネマパラダイス」という映画でいえば、生まれ育った町を出るために、列車に乗り込んだところです。本作は、言わずと知れた名作ですが、これから社会に出ようとしている皆さんにお勧めしたい映画の一つです。

この作品は、映画を愛する主人公（トト）の人生を二つの時間軸から描いています。まず、幼少期から青年期にかけて、一番の友人である映画技師のおじさん（アルフレード）との深い絆や、恋人（エレナ）との恋愛を通じて、故郷で過ごす青春の日々が描かれます。青年になったトトは、この町にいても、それなりに暮らしてはいけます。しかし、アルフレードは、「町を出ろ。お前とは話さない。お前のうわさを聞きたい。」と言い、トトに町を出るように勧めます。トトは町を出て大成しますが、その様子は映画では描かれませんが、その後 30 年の歳月を経て、壮年のトトは、大成して故郷に帰ってきて、様々な再会を果たす様子が描かれます。

この映画の素晴らしいところは、年を経て色々な経験を積むことで、味わい深くなるのでしょうか。これまでの私は、故郷で青春の日々を過ごすトトでした。これからは、映画では描かれなかった、故郷を出てから帰郷するまでのトトにあたるのだと思います。壮年のトトのように、過去を振り返ってノスタルジーに浸るには、今はまだ早過ぎるでしょう。30 年後に故郷に帰ったときに、トトの気持ちが分かるようになっていたいと思っています。



22 歳の頃に短期留学したパリにも、いつかまた訪れたいです。

大学院への誘い

お知らせ

時代や国や地域や業種を問わず、就職と給料を決定するほとんどの場で考慮されるものは何かご存知ですか？

それは学位です。

民間企業でも公的機関でも、偏差値や大学名での差ではなく、取得した学位、つ

まり博士・修士・学士の順で高い給料基準で計算される傾向にあります。学位は専門に深い理解がある知識と能力の高さを示す基準とされているからです。

社会不安がありつつも定年が延長され働く年数が長期化する時代、自らの知識と能力を磨くべく、大学院の進学を選択肢に検討してみてもはいかがでしょうか？

金沢大学法学研究科の法学・政治学専攻（修士課程）では「**研究コース**」と「**高度専門職コース**」の2つのコースがあります。「**研究コース**」は法学や政治学を専門とする研究者の養成を行います。新しい「**高度専門職コース**」は、国際感覚を備え紛争の予防等に貢献できる企業の法務部門職員や、税理士、弁理士、司法書士などの法的な実務能力に優れた専門職、高度な政策立案等を行う行政職員や公的機関職員など、専門知識を生かした職業人の養成を行います。

このように研究職や専門職に必要な知識の修得や、法学・政治学の専門知識を活かしてキャリアアップを図りたい等、多様な目標を持った方々の期待に応える選択肢が法学・政治学専攻に用意されています。

法学・政治学専攻の第1期募集は出願締切6月2日で入試は7月に、第2期募集は来年2月に予定されています。今年9月卒業予定の方は今年度の10月入学も可能です。

この機会に大学院への進学も進路の選択肢としてご検討下さい。

募集要項は、法学・政治学専攻のホームページをご参照ください。

なお、特に「**高度専門職コース**」は現役の大学生からの進学に加え、現役社会人のキャリアアップにも十分に対応できるコースです。ぜひ心に留めておいてください。

<https://law.w3.kanazawa-u.ac.jp/brochure/news/13561>



教員人事のお知らせ

5月1日付で、洪淳康准教授（経済法）が教授に昇任されました。



イレギュラーな編集後記

冒頭にも書きましたが、開講時期がずれ込んだのと、講義自体も遠隔で行われ続けているせいでなんだか奇妙な感じです。新年度の実感が持てません。どうやら講義の内容と教室の暑さ（冬は寒さ）それぞれの進行具合によって私は季節を実感しているのだということが今年わかりました。

学生の皆さんにも、1年生（新入学）、2年生の一部（他学類からの転学類や共通教育から移行）、3年生の多く（いよいよゼミに所属）を中心に、年度が変わることに伴う大きな変化とその実感とが本来あったのでしょうか、このような状況のせいで肩すかしのようないい思い、残念な思いを抱いているかもしれません。

この編集後記執筆時点では、石川県など多くの県で緊急事態宣言が解かれているものの、実際に全員がキャンパスに出向き顔を合わせるのいつになるのかは不透明です。ただ、いつになるにせよ、顔を合わせた日に改めて全員に「新年度」が訪れるとも考えることができます。その日を楽しみにしつつ緩まず過ごしましょう。

法学類HP
へGO!



- 法学類の学生、卒業生、教員に関するイベント等の情報を、ぜひお寄せください。
- 関係者の皆様のご寄稿を歓迎します。採用された方には、法学類グッズを進呈します。
- 本誌のバックナンバーは、金沢大学法学類 Web サイトに掲載していますのでご覧ください。<http://law.w3.kanazawa-u.ac.jp//category/brochure/geppo>
また、メールでの定期配信（無料）をご希望の方は、金沢大学人間社会系事務部 学生課 n-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp までお申し込みください。
- お読みになってのご意見ご感想は、上記メールアドレスまでお寄せください。